

今年度の活動報告等

第6回 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

「宍道湖・斐伊川環境フェア」の実施

■概要

日 時:2018年11月18日(日)

10時00分～15時00分

場 所:イングリッシュガーデン

来場者:約500名が来場。大人から子どもまで幅広い年齢層が集まった。

■ブース出展

- ①島根県:ラムサール条約登録の紹介
- ②国交省:生態系ネットワークの取り組みの紹介
- ③雲南市、西小学校:雲南市のコウノトリの保護活動に取り組み事例紹介
- ④出雲市:トキの分散飼育の取り組みの紹介&12月からの一般公開の紹介
- ⑤島根大学:雲南市でのビオトープづくり&調査の取り組みの紹介
- ⑥松江市:宍道湖ヨシ狩りボランティアの紹介&今年の日程紹介
- ⑦未来守ネットワーク:海藻肥料を使ったお米づくり、環境農業の紹介
- ⑧宍道湖自然館ゴビウス:野鳥観察のできるホシザキグリーン財団の紹介
- ⑨宍道湖漁協:シジミの資源管理や水質浄化への取り組み

■プログラム

- ・10:00～13:00 音楽演奏 はびねすTEC☆
S&M
KTT
MILKY Way
ことみ
YOITANBO-Z
ながちゃんず (演奏順)
- ・13:00～13:30 基調講演 兵庫県豊岡市環境政策課 主幹 宮垣均氏
「豊岡市のコウノトリの取り組み」
- ・13:30～14:30 意見交換会
(公財)日本野鳥の会副会長 佐藤仁志氏
雲南市立西小学校校長 和田邦子氏
出雲市農業振興課トキ分散飼育係課長補佐 梶谷房生氏
(一社)出雲観光協会副会長 田邊達也氏
豊岡市環境政策課主幹 宮垣均氏
NPO法人 未来守りネットワーク理事長 奥森隆夫氏
山陰中央新報社 出雲総局長 舟越幹洋氏
- ・15:30 閉会

■飲食ブース

- ・シジミ汁
- ・いずもぜんざい
- ・海藻米のおにぎり
- ・カニ汁
- ・わたがし
- ・マフィン



出展ブース



意見交換会



基調講演

イベントへのブース出展及び体験型展示等の実施

子どもたちをはじめとした地域の方々に、当地を訪れる大型水鳥類の魅力やその重要性を知ってもらうため、環境教育的な要素も含めた普及広報として、3つのイベントでのブース出展を行った。

■土木の日

日時：2018年11月3日（土）

9時30分～12時30分

場所：上塩冶スポーツセンター

参加者：主に親子

■松江市環境フェスティバル

日時：2018年11月4日（日）

10時00分～15時00分

場所：くにびきメッセ

参加者：大人から子どもまで幅広い年齢層

■宍道湖・中海環境フェア

日時：2018年11月18日（日）

10時00分～15時00分

場所：イングリッシュガーデン

参加者：大人から子どもまで幅広い年齢層

■展示内容

- ・ハクチョウとガンの折り紙を用いたワークショップ。
- ・水鳥の重さを体感する体験型展示。
- ・大型水鳥を紹介した写真パネル、等身大パネルの展示と解説。
- ・斐伊川エコネットに関する取り組みパネルの展示と解説。
- ・水鳥をみた場所にシールをはる体験型展示。
- ・ミニリーフレット等の配布。
- ・ブース来訪者を対象としたアンケートの実施。

■大型水鳥を紹介した写真パネル、等身大パネル、斐伊川エコネットに関する取り組みのパネルの展示と解説



■大型水鳥の重さを体感する体験型展示の実施

大型水鳥類5種（ハクチョウ類、ツル類、ガン類、コウノトリ、トキ）の体重にあわせた段ボールを用意し、持ち上げて体重を予想してもらう体験型展示を行った。水鳥の重さを体感してもらうことで、より身近に感じてもらうことを狙った。実物大パネルによって、実際の大きさもみてもらうことができた。コウノトリやハクチョウは思ったより重かった、トキが思ったより軽かったなどの感想が目立った。



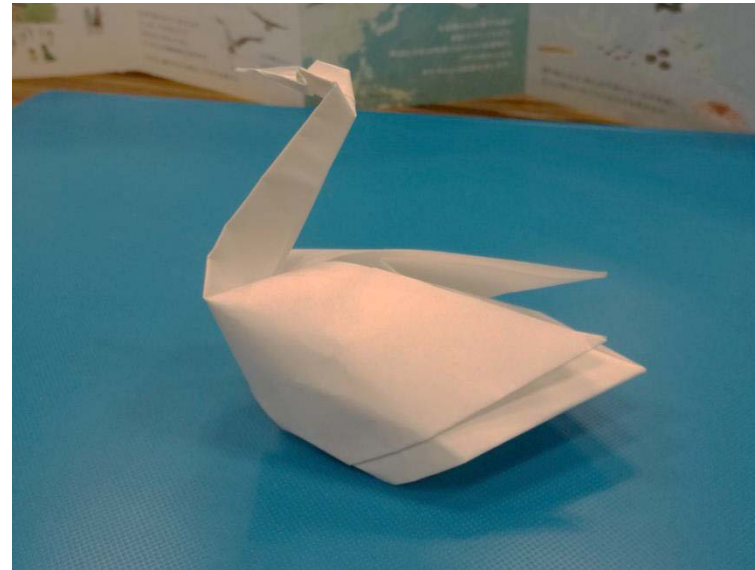
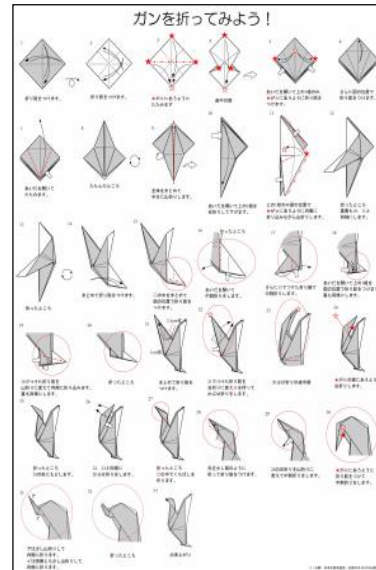
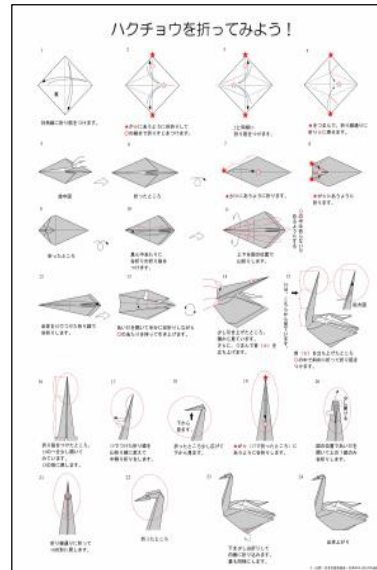
■大型水鳥をみた場所にシールを貼る参加型展示の実施

当該地域に生息している大型水鳥類4種（ハクチョウ類、ツル類、ガン類、コウノトリ）について、目撃した場所にシールを貼ってもらう参加型展示を行った。自分の見た場所にシールを貼ると同時に、他の目撃情報をみて驚いたり興味を持つ参加者が多く見られた。



■ハクチョウ、マガンの折り紙を折るワークショップの実施

大型水鳥類のハクチョウ及びマガンの折り図を用意し、実際に折り紙を折ってもらうワークショップを実施した。参加したのは子どもが多いが、中には大人もいた。完成後、ハクチョウやマガンが多い地域であることや斐伊川エコネットについて説明しミニリーフレットを持ち帰ってもらった。



■ブース来訪者を対象としたアンケート結果

土木の日、松江市環境フェスティバル、宍道湖・中海環境フェアにおいて、ブース来訪者に対して、聞き取りによるアンケートを実施した。アンケート回答者は、57名であった。

■アンケート用紙

記入年月日（2018/11/ ） 時刻（ ： ） 事務局記入者（ ）

大型水鳥ブース・アンケート

あなたの性別にあてはまる項目にチェック ☐ V ☐ を入れ、年齢は○でかこんでください。

☐ 男性 ☐ 女性 【 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上 】

※小学生以下のお子様連れ ☐ はい ☐ いいえ ※イベント関係者（ ）

あなたがどこから来たのかあてはまる項目にチェック ☐ V ☐ を入れてください。

☐ 出雲市 ☐ 松江市 ☐ 雲南市 ☐ 安来市 ☐ 飯南町 ☐ 奥出雲町 ☐ 米子市 ☐ 境港市

☐ その他の島根県内 ☐ その他の鳥取県内 ☐ 島根・鳥取県外

水鳥のおりがみはむすかしかったですか？ ※☐ 白鳥 ☐ 雁

☐ むすかしかった ☐ ちょうどよかった ☐ かんたんであった ☐ やっていない

前から知っていた鳥すべてにチェック ☐ V ☐ してください。※詳しい種類をご存じでしたらカッコに記入

☐ 雁（ガン類） ☐ 白鳥（ハクチョウ類） ☐ 鶴（ツル類） ☐ コウノトリ ☐ トキ
（ ） （ ） （ ）

チェックを入れた鳥をどこで見たことがあるのか、あてはまる項目すべてを○でかこんでください。
詳しい種類が分かる場合は、カッコに記入してください。

雁 （ ） ※☐ 雁か鴨か区別できない
【 斐伊川 ・ 斐伊川周辺の田んぼ ・ 宍道湖 ・ 中海 ・ その他（ ）】

白鳥 （ ） ※☐ コバクチョウか区別できない
【 斐伊川・斐伊川周辺の田んぼ・宍道湖・中海・下古志・宇賀荘・その他（ ）】

鶴 （ ） ※☐ 鶴か鴨か区別できない
【 斐伊川 ・ 斐伊川周辺の田んぼ ・ その他（ ）】

コウノトリ 【 斐伊川 ・ 斐伊川周辺の田んぼ ・ 雲南市 ・ 兵庫県豊岡市 ・ その他（ ）】

トキ 【 出雲トキ学習コーナーのモニター ・ 佐渡 ・ その他（ ）】

出雲市でトキを飼育していることを知っていましたか？

☐ 前から知っていた ☐ 知らなかった

出雲市で今年からトキの公開が始まることを知っていましたか？

☐ 前から知っていた ☐ 知らなかった

雲南市で今年、コウノトリの雛が巣立ったことを知っていましたか？

☐ 前から知っていた ☐ 知らなかった

雲南市で昨年、コウノトリが、誤って銃で撃たれてしまったことを知っていましたか？

☐ 前から知っていた ☐ 知らなかった

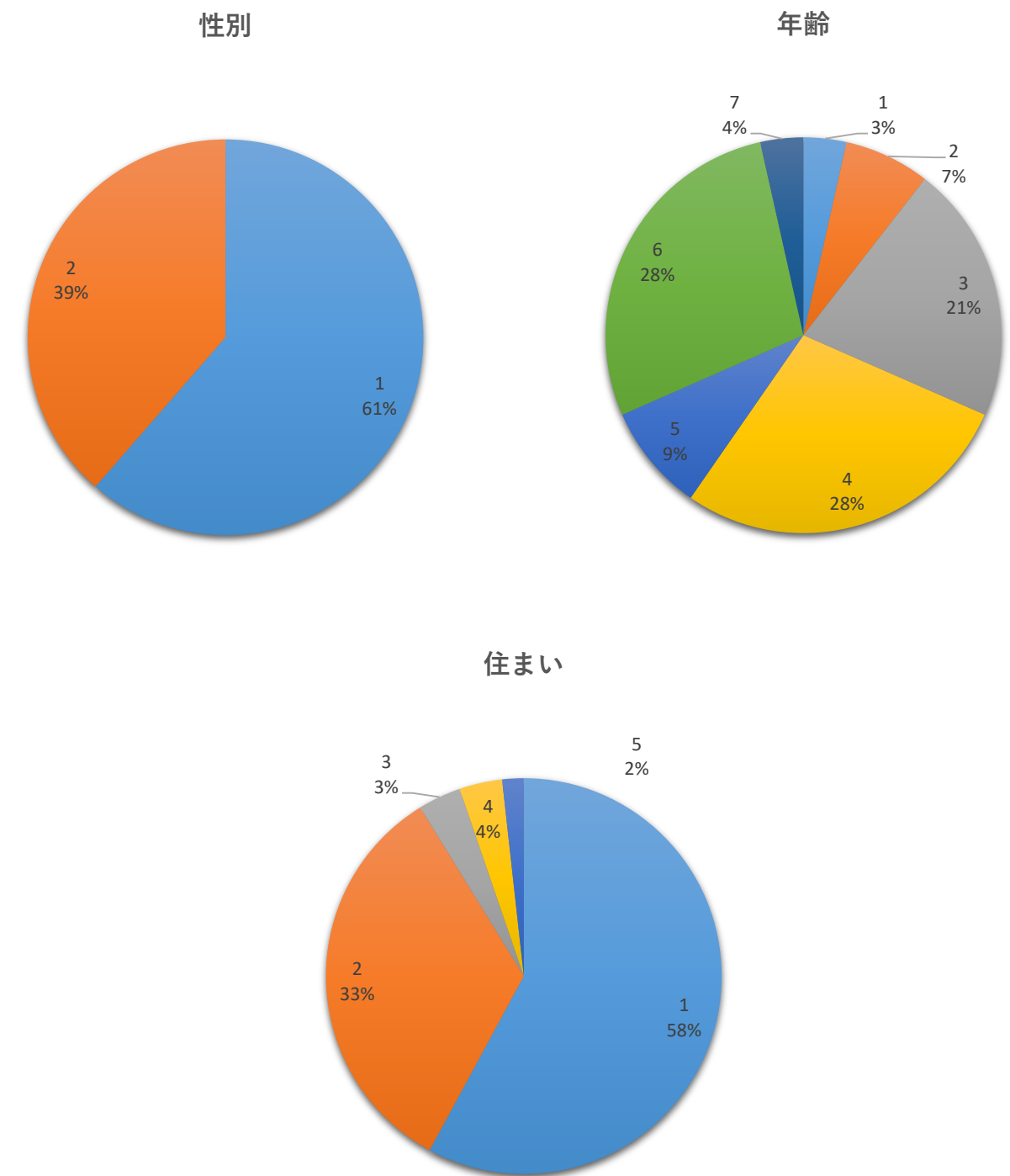
斐伊川水系で進められている「生態系ネットワーク」の取り組みを知っていましたか？

☐ 前から知っていた ☐ 今日展示をみて知った

ありがとうございました！

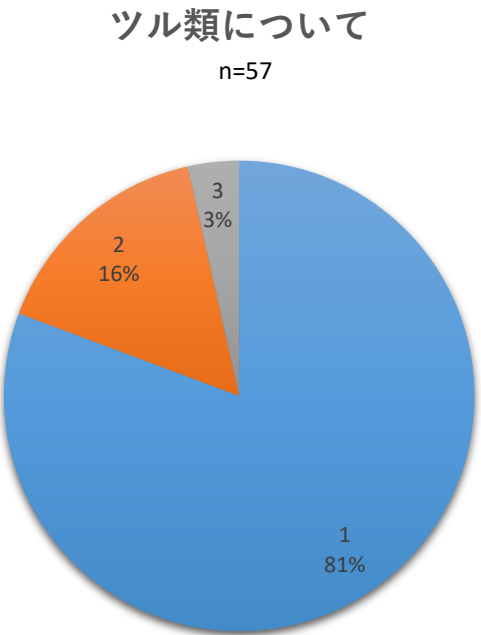
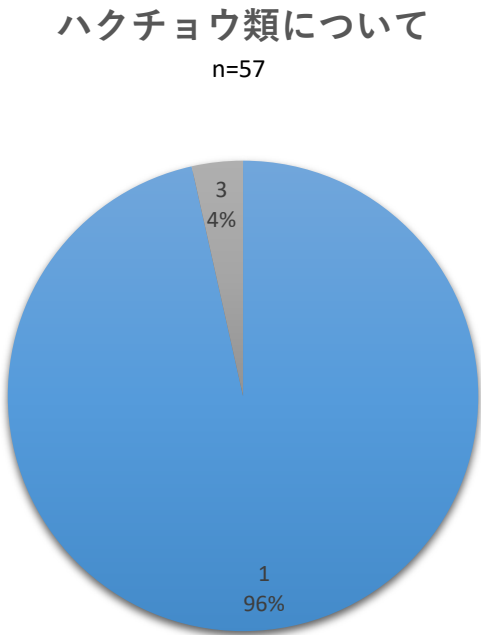
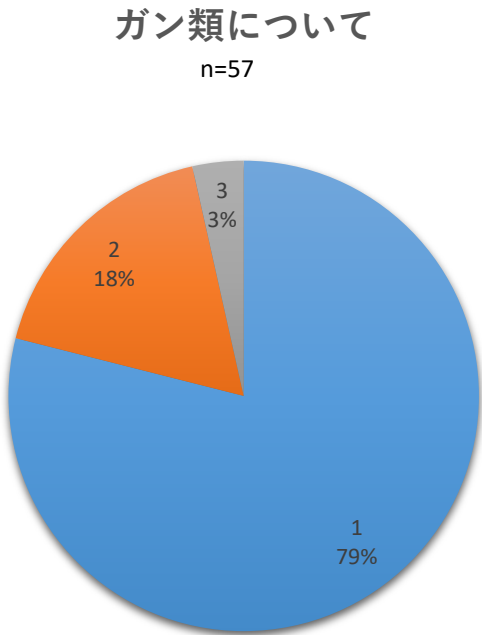
■属性

2つのイベントが松江市で開催されたため、松江市内からの参加者が多かった。



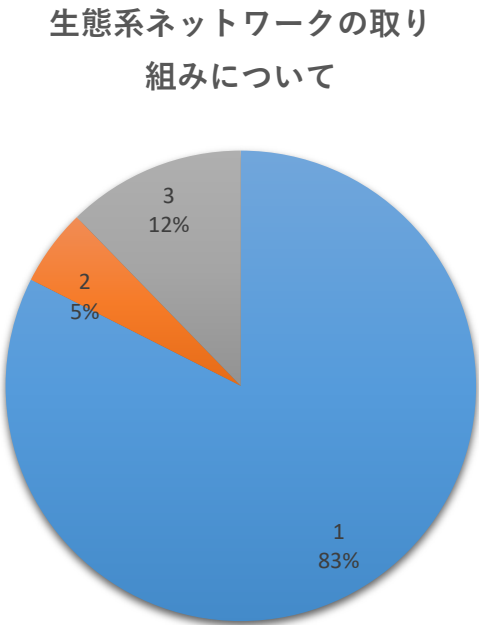
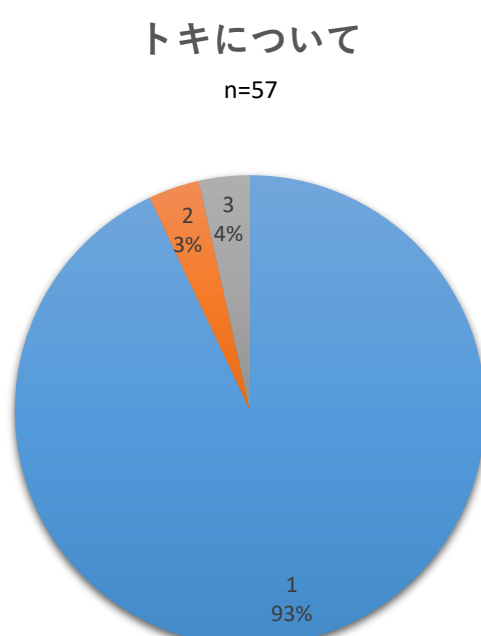
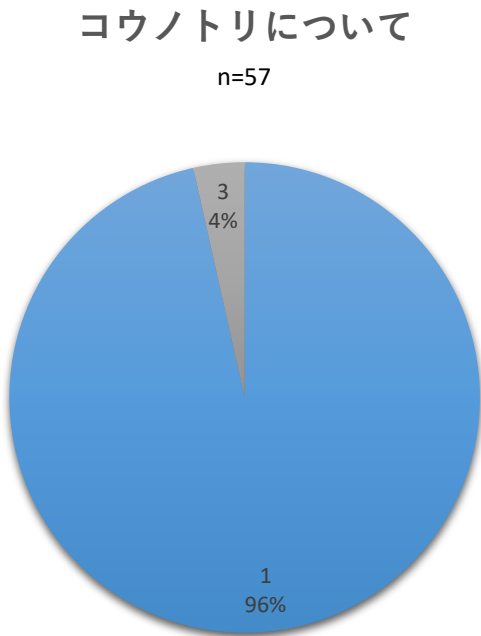
■大型水鳥類の認知度について

5種とも名前を知っている人がほとんどだった。特にハクチョウ類とコウノトリ、トキはほとんど認知されていた。



■生態系ネットワークの取り組みについて

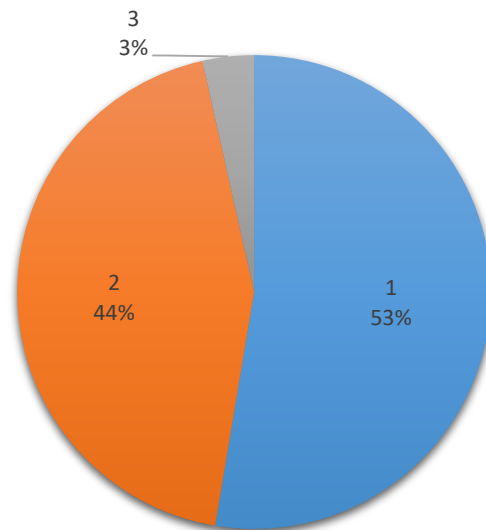
回答者の多くが生態系ネットワークの取り組みを知らなかった。



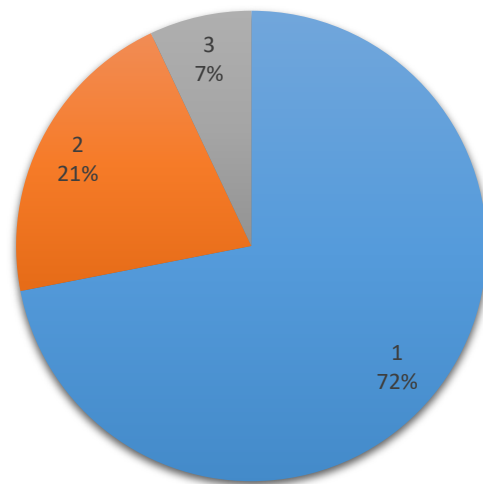
■雲南市におけるコウノトリの巣立ち及び昨年の誤射について

雲南市のコウノトリが今年営巣し4羽巣立ったことについて半数以上が前から知っていた。また昨年の誤射についても7割が知っていた。メディア報道による認知と考えられる。

雲南市のコウノトリ巣立ちについて



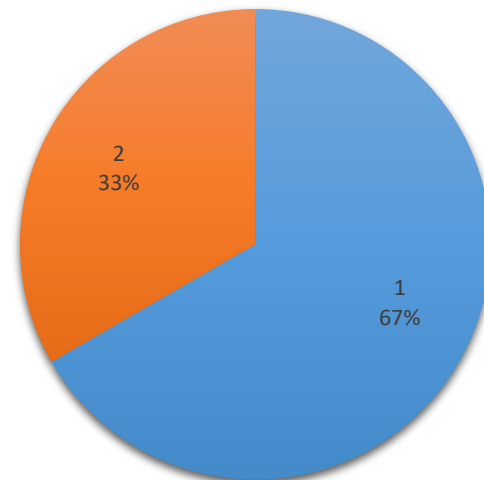
雲南市のコウノトリ誤射について



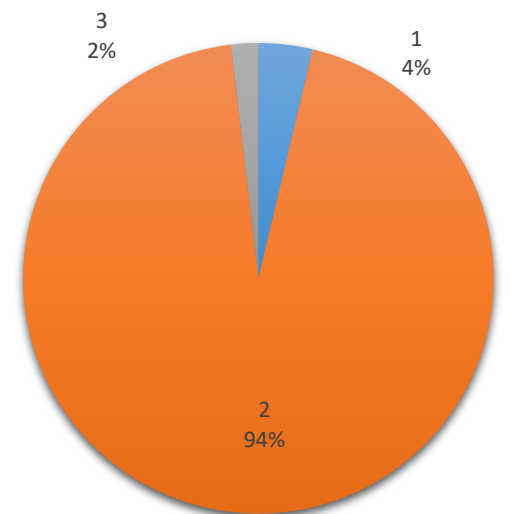
■出雲市におけるトキの分散飼育及び一般公開について

出雲市におけるトキの分散飼育については、3分の2が前から知っていた。12月から予定している一般公開についてはほとんどの人が知らなかった。

トキの分散飼育について



トキの一般公開について



(参考) 大型水鳥を育むお米を使ったサブレの開発

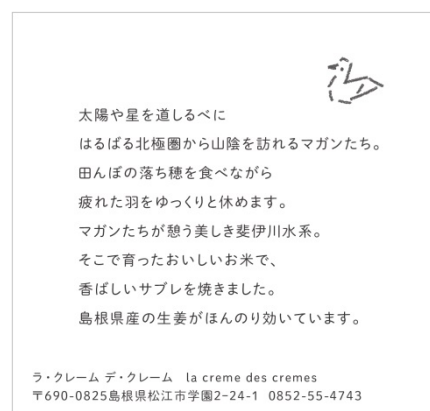
生態系ネットワークの取り組みに共感していただいた、松江市の洋菓子店「ラ・クレームデ・クレーム」では、ガン類やハクチョウ類のために、落ち粃や二番穂を残す農法により作られた減農薬のお米を使った、マガンの形のサブレ、「わたりどりサブレ〜マガン」を開発。



今後、地域の生態系を象徴するお土産のひとつとして観光客等に購入いただくことで、観光振興や環境保全米の普及、大型水鳥の生息環境の保全につながることを期待。



わたりどりサブレのカード（表）



（裏）



焼き上がったサブレ



二番穂を採食するマガン